

別紙様式 1

平成 28 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ 4 5 - 2 2
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	平成28年4月1日～平成32年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2132

1 施設の概要

設置年月日	平成 13 年 7 月 1 日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、四季彩館、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんど等の設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	8月12日から8月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立あすたむらんど等の設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務。 ②あすたむらんど等の施設等の維持管理に関する業務。 ③あすたむらんど等の利用の許可に関する業務。 ④あすたむらんど等の使用料の徴収に関する業務。 ⑤その他あすたむらんど等の管理に関し、知事が必要と認める業務。
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 30 名 臨時職員 15 名 計 45 名
	正規職員：30名、パート・常勤：14名、パート・非常勤：1名

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度	44,064	59,145	18,537	37,187	57,627	22,713	52,875	36,842	61,269	27,248	18,097	38,832	474,436
	前年度	36,803	60,697	21,738	28,813	67,915	42,350	50,706	37,743	62,763	27,744	19,902	43,580	500,754
	前々年度	31,722	58,196	20,364	24,580	56,246	31,560	43,417	39,706	42,461	20,752	17,416	48,409	434,829

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度	7,269	10,333	2,926	7,880	17,487	4,479	5,924	4,254	8,233	5,152	2,729	6,931	83,597
	前年度	5,897	10,211	3,671	7,697	21,451	8,358	6,368	5,828	7,678	5,588	3,360	9,957	96,064
	前々年度	4,863	9,006	3,598	6,026	17,637	5,945	4,549	6,155	5,693	3,885	2,496	12,593	82,445

施設毎 利用料金収入 (千円)		カレドシター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	イベント広場	計
	28年度	2,554	29,462	39,141	12,032	408	83,597
	前年度	3,083	33,832	44,956	13,935	258	96,064
	前々年度	2,661	27,086	39,256	13,289	154	82,445

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成27年度(前年度)	平成26年度(前々年度)
収入	指定管理料	656,499	659,588	659,621
	利用料金収入			
	事業収入	2,782	14,518	17,485
	その他	6,485	13,810	6,900
	計	665,766	687,916	684,006
支出	人件費	141,840	144,311	159,212
	管理運営費	463,757	462,001	463,503
	事業費			
	その他	56,068	60,606	56,068
	計	661,665	666,918	678,783
収支		4,101	20,998	5,223

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<p>事業委託の際、市場価格や積算資料等を参考にさらなる金額交渉なども含め強化し経費削減に努めた。</p> <p>デマンド機の設定値を前年度同月の最高値に設定し、数値を超えないよう全員で意識することで電気使用料の削減に努めた。</p> <p>風車機器点検業者を同等水準で点検可能な地元業者に移行することで57%の費用削減に繋がった。</p> <p>イベントにて使用する造作物を、自社で準備製作できるものは外注せず、自社で準備製作を行った。</p>
サービス向上の取組	<p>ゴールデンウィーク、夏休み、クリスマス、初日の出のイベント主旨に合わせて開閉時間を変更し、利用者ニーズに合わせて弾力的な運営を行った。</p> <p>四季彩館の利用促進、動線を強化するため、県産材を活用した新商品の展示・販売や県産木造住宅の建築相談を行う施設として「とくしま木づかいプラザ」を設置し、平時は「木育広場」、イベント時は県産材のPR拠点として活用を図っている。</p> <p>「Happy X'mas2016」を、過去最長の25日間開催し、開園時間を夜9時まで延長、夜間延長開園期間、非常に人気の高い吉野川めぐりについても過去最長の19日間と大幅に運航日を増加させ、利用者の満足度向上に努めた。</p>

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マイホームの夢を叶えてくれる地元工務店が集結する「とくしま暮らしと家フェスタ2016」を実施。 ・開園15周年記念事業としてGW期間に「もうすぐ15周年春のあすたむ祭り」、7月から「おかげさまで15周年記念イベント」として「あすたむサマーフェスティバル」期間中にキャラクターショーやアイドルLIVE等を実施。 ・秋の行楽シーズンには大道芸人のパフォーマンスを楽しめる「秋のわくわくフェスタ大道芸フェスティバル」を実施。 ・音楽連動のイルミネーションを中心に、カップル・ファミリーで楽しめるイベント「Happy X'mas2016」を実施。 ・風車の丘からの初日の出観覧やスノーパークなどを楽しめる「あすたむ迎春イベント」を実施。
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	インフォメーションセンター、四季彩館及び子ども科学館において定置式アンケートを実施している。また、その結果をサービス向上委員会に諮ることで、利用者ニーズへの適切な対応が図られている。 SNSを活用した情報発信も定期的に行っており、施設の利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	提出された業務計画書に基づき、効果的に実施できている。 継続事業については、内容を充実させるなど工夫を行っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	修繕等年次計画に基づき適正な維持管理がなされている。 備品等を購入したときは、月次報告により県に報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	入園者数、使用料収入ともに年度当初の数値目標を概ね上回り、良好な状況である。 軽微な修繕等は指定管理者が直接行っている。 物品の在庫の可視化や担当部署の設立、引き続き照明のLED化に努める等、コスト削減に取り組んでいる。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	出勤簿により職員が適切に配置されていることを確認した。 危機管理研修、利用者サービス研修、観光セミナー研修等の職員研修にも積極的に取り組んでいる。 利用料金については月次報告書・通帳写しにより、適正に徴収されていることを確認した。 モニタリングについても月の運営会議や週のミーティングで行っている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	適切に休日が確保されており、超過勤務についても、命令簿により適切に管理されている。 ノー残業デーを設けるなど、超過勤務縮減のための取り組みを実施している。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	職員・スタッフのほとんどを地元採用している。 業務委託については技術的に制約がある場合等を除いて、地元企業への委託を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	地元自治体や企業で組織されている「あさんウォーキングフェスタ実行委員会」で、環境と健康をテーマに「あさんウォーキングフェスタ in いたの」を開催している。 徳島工業短期大学と連携し、ソーラーバスを共同開発。 29年度より園内周遊運行を開始予定。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	防火管理者や危険物取扱者も複数体制で設置している。 事故発生時などの緊急連絡体制が整備されている。また、事故などが発生した場合には、瑕疵の有無にかかわらず、社内で周知報告がなされている。 火災、地震などあらゆる事態を想定した防災マニュアルが整備されており、防災訓練の実施等により職員教育がなされている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	エコアクション21を基に、積極的に環境への配慮のための取り組みを行っている。 デマンド機器を導入し、電力消費量の抑制に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、法定点検など適正に行われている。 情報公開に関する規程を整備している。
総合評価	A	今年度は、シルバーウィークがなかったため入園者数、利用料金収入ともに前年度より減少したが、年度当初の数値目標を上回る良好な状況であり、概ね協定書の内容どおり、適切な管理運営が行われていることが確認できた。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

開園以来15年以上経過し、施設・遊具などの老朽化が顕著となっており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。
新規自主事業の開拓を行うとともに、各種イベントを通じ、さらなる利用促進へ取り組んでいく必要がある。